

# 湯梨浜町長コメント

この度、全国健康保険協会鳥取支部〈協会けんぽ〉と湯梨浜町が、「湯梨浜町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結し、相互に連携しながら、町民及び協会けんぽの皆さんの一層の健康増進を図ることになりました。

湯梨浜町では、これまで「健康ゆりはま21」プランを策定し、各種健診の充実、ノルディック・ウオークやグラウンド・ゴルフの普及等による運動習慣の定着、食生活の改善、生活習慣病予防教室や健康教室の開催、さらには、心の健康づくり、各種スポーツ大会、介護予防事業など、様々な活動を展開し、町民の皆さまの健康づくりに取り組んでまいりました。


しかしながら、国民健康保険の特定健康診査受診率は、健診項目の追加などによる受診率の向上を図っているにもかかわらず、依然20パーセント台を低迷していますし、がん検診についても、節目検診として一定の年齢における無料化を行い、受診の促進に努めていますが、伸び悩んでいるのが現状です。また、がんによる医療費は県平均よりも高く推移しており、医療費の増加に歯止めがかかっていません。

このような状況の中、今般の協定の締結により、受診勧奨の促進はもとより、住民の約8割の方の健診データや医療費分析などを通して、医療費の適正化対策や生活習慣病予防のための保健指導など、本町の健康課題に沿った充実した健康増進対策が推進され、健康寿命の延伸につながるものと確信しています。

折しも地方創生が叫ばれ、地方の再生による人口減少社会の克服、持続的発展可能な国づくりが始まりました。活力のあるまちづくりに、町民の皆さんの健康の維持・増進は、その基礎をなす、とても大切なことです。

引き続き町民の皆さんの健康づくりを積極的に推進し、「げんき・いきいき・かがやきのまち」の実現を目指してまいります。



 湯梨浜町長  
宮脇 正道